

# 廃棄茶葉が生まれ変わる！ リサイクル染めワークショップで サステナブルな体験を

製茶工場の廃棄茶葉を美しい染料として生まれ変わらせるリサイクル染めワークショップを開催します。環境問題に取り組む高校生が、持続可能な社会を目指して企画しました。

ワークショップでは、茶葉の特性や染色の原理を学びながら、実際にハンカチなどを染めていきます。自然の色合いを生かした、優しい風合いの作品を作ることができます。

環境に配慮したライフスタイルに関心のある方、アップサイクルに興味のある方、次世代を担う若者を応援して下さる方ぜひご参加お待ちしております♪

ほっとする時間、  
贅沢なひととき



【日時】2026年1月18日(日)  
15時半～18時  
【会場】LovA(ロバ)  
【アクセス】JR宇治駅から  
歩いて5分  
宇治市宇治壱番83  
【参加費】1人 800円  
【定員】20名(先着順)

【持ち物】汚れても良い服装若しくはエプロン、染めたい物  
1点(綿、麻、ウールなどの自然素材140g程度まで  
バンダナ、手ぬぐい、Tシャツなど)  
【申し込み】rits.DYE及び工房うたたどちらかのInstagramの  
DM又は公式Lineに、参加の方のお名前、  
電話番号、染める物の重さをご記入の上お申込み  
ください。  
【主催】立命館宇治高校  
コア探究プロジェクト Leaf Ballers×工房うたた  
【協力】株式会社丸宗

Instagram /



rits.DYE

Instagram /



工房うたた

公式Line/



工房うたたは、様々なワークショップや、素話のお話し会を通して、週末に東笠取に訪れる人が増えることを願い活動しています。

どうか大好きな笠取の美しい自然がいつまでもあり続けますように願いを込めて。

廃棄されるものから、新たなものを生み出す  
SDGsへの貢献が出来ないかを考えているという  
高校生4人から、InstagramのDMに、一度お話を  
聞かせてほしいという連絡をもらったことを  
きっかけにして、工房うたたの活動拠点である  
東笠取で、今は使っていない茶畑の茶葉をみんな  
で摘み、茶葉を煮出した染液と、彼らが茶工場  
から譲り受けた廃棄茶葉の二種類の染液で染める  
体験をしてもらいました。

SDGsへの貢献

新たなものを生み出す



●先媒染（焼ミョウバン）  
染料と繊維を強く結びつけ、発色を助け、色落ちを防ぐ為に、染めたいものを媒染剤につける。



●染液を作る  
今は使っていない茶畑の茶葉からと、茶工場から出た廃棄茶葉から染液を作る。



●染色  
染液を温めながら、染めるものを、染液の中で広げるように混ぜながら染める。



●後媒染（木酢酸鉄）  
鉄媒染することで、別の色に染めることができる。